



喜びと感激でいっぱいです

1 / 13

平成25年登別市成人祭

1月13日(日)、市民会館で『平成25年登別市成人祭』(市・同実行委員会主催)が行われました。

今年の新成人は、男性333人、女性218人の計551人。成人祭には、男女合わせて355人が参加しました。

式典で、小笠原市長は「一人の大人として、どのような生き方をし、社会の一員としてどのような役割を果たしていかなければならないのかを考え、自覚を持って行動していただきたい」と激励の言葉を贈りました。

続いて新成人代表の広瀬伯真さんと山下梨沙さんが20年間大切に育ててくれた親への感謝と一日も早く立派な社会人になれるよう誓いの言葉を力強く述べました。

式典の後は、ビデオレターの上映や出身中学校対抗の登別ブランド品早食い競争、抽選会、記念撮影などが行われ、会場は一体となって盛り上がりしました。

小雪降る中
福を願って餅をつく

元旦縁起もちつき

1月1日(火)、泉源公園(登別温泉町)で『元旦縁起もちつき』(社登別観光協会主催)が行われ、観光客や市民など約480人でにぎわいました。

披露された『子宝もちつき舞』は、登別の名湯『子宝湯』にちなんで、子宝・安産や夫婦円満、家内安全を祈願する郷土芸能で昭和57年に誕生。4人のつき手が笛や太鼓の音色に合わせて餅をつき、終盤にきねを宙に放り投げ、互いのきねを交換する大技が決まると、ひととき大きな歓声が沸きあがりました。餅はお汁粉にして振る舞われました。



▲披露された『子宝もちつき舞』

1 / 1